

一般社団法人日本発達心理学会第 27 回大会の 開催にあたってのご挨拶

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。第 27 回大会は、日本発達心理学会の大会が初めて津軽海峡を渡り、北海道で行われることとなりました。会場は札幌市にあります北海道大学の高等教育推進機構ならびに遠友学舎です。天候に鑑み、時期を 2016 年 4 月 29 日～5 月 1 日としましたことをご理解いただけましたら幸いです。

本大会のテーマは、「変化と多様性のなかの発達心理学」です。

グローバル温暖化をはじめとする大小の自然環境の変化、少子高齢化やモビリティによる人口学的な変化、電子機器の普及発達に伴う私たちの行動や人間関係の変化等々により、法や制度、教育の在り方、心理的支援・介入も多様化し、発達心理学の役割はますます大きなものとなっています。変化と多様性のなかで、発達心理学のどのようなディシプリンは変わらず、どのような側面は変化・進化し、他領域との連携・融合が進んでいくのか。本大会が、こういった様相を見渡すことのできる、新たな出発点となればと願っております。

大会企画としましては、乳児の心的理解に関する「二人称的アプローチ」で注目を集める Vasudevi Reddy 教授（ポーツマス大学）、社会心理学の捉え直しから人間の自由と主体性に関する根源的な問いかけをされている小坂井敏晶准教授（パリ第八大学）をお招きし、講演をお願いする予定です。また、国内研究交流委員会による「理論と実践をつなぐ子どもの見方」など、様々な企画も順調に進んでおります。ぜひ楽しみにいらしてください。

なお、本大会には、いくつか特徴があります。一つは、2016 年 7 月 24～29 日に横浜パシフィコで開催される国際心理学会議（ICP2016）に先駆けた大会となることです。世界の心理学者が集う ICP2016 のテーマ「Diversity in Harmony : Insights from Psychology」と緩やかに連動し、発達心理学を盛り上げていければと思います。

もう一つは、これまでにない時期、場所での開催も含め、大会開催の手続きを整理し、今後、持ちまわりで大会を維持・開催していく方法を模索する実験的な大会としたい、ということがあります。そのため、これまでとは異なる「変化」が生じる可能性もありますが、ご理解・ご協力を賜われましたら幸いです。

どうぞ皆様、雪が溶けてありとあらゆる花々が一斉に咲き出す美しい春の北海道に、ぜひお越し下さい。

2016 年 3 月
一般社団法人 日本発達心理学会
第 27 回大会委員長 仲 真紀子

大会参加者へのご案内

1. 大会会場

北海道大学 札幌キャンパス 高等教育推進機構および遠友学舎
〒060-0811 札幌市北区北 8 条西 5 丁目（大学本部）

【アクセス】

新千歳空港から JR 線快速エアポートで札幌駅まで約 40 分

(1) 札幌駅北口下車 徒歩約 20 分

(2) 札幌駅で地下鉄南北線に乗換「北 12 条」駅下車徒歩 15 分、もしくは「北 18 条」駅下車徒歩 10 分

2. 受付

場所：高等教育推進機構 1 階玄関ロビー

時間：大会第 1 日目（4 月 29 日・金） 8：30～16：00

大会第 2 日目（4 月 30 日・土） 8：30～17：30

大会第 3 日目（5 月 1 日・日） 8：30～13：00

①【予約参加の方】参加証をお送りしていますので、お忘れにならないようご持参ください。大会当日は、受付を bypass 直接会場にお越しください。お忘れの方は、受付の「予約参加」窓口へおいでください。参加証は、大会期間中必ず胸におつけください。

②【当日参加の方】受付にあります「参加申込書」に必要事項をご記入の上、受付の「当日参加」窓口に提出してください。以下の当日参加費用をお納めの上、参加証をお受け取りください。当日の参加費は、一般 13,000 円、学生（大学院生）10,000 円、学生（学部生）3,000 円です。

※学部生だけでなく大学院生（MC・DC）も「学生」として扱われます。学生として参加する場合、学生証（あるいは学生証のコピー）をご提示ください。

※当日参加費には、大会論文集の DVD-ROM と大会プログラムの費用が含まれています。ただし、学生（学部生）は大会プログラムのみの費用が含まれています。

3. クローク

場所：高等教育推進機構 E201

時間：大会第 1 日目（4 月 29 日・金） 8：30～19：00

大会第 2 日目（4 月 30 日・土） 8：30～17：30

大会第 3 日目（5 月 1 日・日） 8：30～15：30

※必ずスタッフより「預かり証」を受領してください。貴重品や危険物を預けることはご遠慮ください。

4. シンポジウム、ラウンドテーブル等打ち合わせ室

シンポジウム、ラウンドテーブル等の打ち合わせには、高等教育推進機構内 E207 と E312 をご利用ください。3 日間とも 8 時 30 分より開放します。

5. 休憩室

大会期間中の休憩室は、E203、E204、E205、E217、E218 をご利用ください。

6. インターネットの利用

大学構内で利用できるネットワークはありません。参加者ご自身でご用意下さい。

7. 喫煙

喫煙は喫煙コーナーをお願いします。

8. 昼食（お弁当）

大会期間中のお弁当の取扱はいたしません。

9. 懇親会

大会2日目4月30日（土）18時より、懇親会を行います。会場は、北海道大学札幌キャンパス、ファカルティハウス「エンレイソウ」内の『レストラン エルム』です（<https://www.hokudai.ac.jp/introduction/campus/enreiso/>）。会費は事前申込 5,000 円（学生 1,000 円）、当日参加 6,000 円（学生 2,000 円）です。定員 80 名に達ししだい締め切らせていただきます。

10. 機器・図書の展示

E203、E204、E205、E217、E218 にて書籍展示、機器展示を行います。休憩室も兼ねておりますので、是非お立ち寄りください。

11. 掲示板

高等教育推進機構 1F 玄関ロビーの受付にて掲示いたします。

12. 大会本部

N231 に大会本部を設けます。

13. 学会事務局

高等教育推進機構 1F 受付付近に、日本発達心理学会事務局の窓口を設けます。入会案内、年会費、住所・所属変更などに関してご質問・お手続き等がございましたら、お立ち寄りください。

14. 保育室のご利用について

大会期間中、下記の要領で保育室を開設いたします。保育室のご利用を希望される方は、大会ホームページの案内をご覧ください。

(1) 保育室利用時間

日 程	午前利用時間	午後利用時間①	午後利用時間②
大会1日目（4月29日・金）	9：00-12：30	12：30-16：00	15：30-19：00
大会2日目（4月30日・土）	8：30-11：30	11：30-14：30	14：00-18：00
大会3日目（5月1日・日）	9：00-12：30	12：30-15：30	

(2) 保育室利用対象年齢：生後6か月～小学生

(3) 場所：セキュリティ上の都合により、申し込みされた方のみにご連絡いたします。

(4) 費用：午前、午後①、午後②の各利用時間につき 1000 円（学生 500 円）

(5) 託児委託先：NPO 法人 子育て応援かざぐるま

(6) ご持参いただくもの：おむつ一式、着替え、ミルク一式、食事、お手拭き、飲み物など なお詳細は、予約者に送付する「保育申込書」にも記載されています。

(4)

(7) 定員：一日につき 15 名程度

(8) 変更・キャンセル：変更やキャンセルが生じた場合は、下記連絡先までご連絡ください。
なお、4 月 22 日（金）以降のキャンセルに関しましては、返金出来かねますことをご了承ください。

(9) 保育室利用についてのお問合せ先

問い合わせ先：日本発達心理学会第 27 回大会実行委員 保育室担当 高橋真由美

Email：mayumit@fujijoshi.ac.jp TEL & FAX：0133-74-3143

お問い合わせの際には、件名を「日本発達心理学会第 27 回大会 保育申込」と明記お願いいたします。

15. 宿泊案内および周辺案内について

大会委員会では宿泊の紹介を行っております。詳しくは以下のホームページをご覧ください。

・ 宿泊予約システム <https://amarys-jtb.jp/jsdp2016/>

・ 札幌の観光情報（一般社団法人札幌観光協会）<http://www.sta.or.jp/>

※札幌キャンパス周辺マップにつきましては、当日観光マップを配付しております。

大会行事のご案内

本大会は、ポスター発表に加え、招待講演、大会委員会企画シンポジウム、学会委員会関連企画シンポジウム、日本発達心理学会関連企画シンポジウム、他の学会との共済シンポジウム、会員企画の自主シンポジウムとラウンドテーブル、および学会賞表彰式・会務報告会、チュートリアル・セミナー、学会賞受賞者による小講演等から構成されています。

大会参加者で事前参加申込登録を済ませている方は、受付は不要です（事前を送付される参加証を忘れないでください）。当日参加の方は受付までお越しください。また、大会参加証はすべての会場の入口で確認しますので、会場に入る際はスタッフに提示してください。携帯電話は電源を切るかマナーモードに設定してください。

1. ポスター発表

遠友学舎にて、ポスター形式による研究発表を行います。ポスター発表は、割り当てられた時間中にポスターを掲示し、かつ在席責任時間の間、質疑に応じることで正式発表とみなされます。なお在席責任時間中に出欠の点呼を行います。今年は会場運営の関係から、ポスター発表には6つのセッションがあり、それぞれが講演、シンポジウム、ラウンドテーブルなどと同時並行で行われます。皆様にはご不便をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

(1) 研究発表の登録

ポスター発表会場の発表受付にて、発表者登録をお願いします。このとき、発表者用リボンをお渡しします。ポスター発表終了後、発表者用リボンと画鋏を返却してください。

(2) ポスター掲示要領

ポスター掲示用パネルには発表番号が付いています。各セッションの15分前までに、持参したポスターを自分の発表番号が付いたパネルに掲示してください。パネルの大きさは、横90cm×縦210cmです。ポスター掲示範囲は、横90cm×縦190cm以内が適当です。ポスターの最上部には、題名（字の大きさはおよそ72ポイント）、氏名（およそ48ポイント）、所属（およそ36ポイント）を明示してください。本文（およそ48ポイント）を全紙、または何枚かに分けて色台紙に貼るなどの方法で掲示してください。

(3) 掲示可能時間、在席責任時間ポスター掲示可能間

第1日	4月29日（金）	PA	10時00分～12時00分
		PB	13時30分～15時30分
第2日	4月30日（土）	PC	9時00分～11時00分
		PD	12時00分～14時00分
第3日	5月1日（日）	PE	9時30分～11時30分
		PF	13時00分～15時00分
在席責任時間	奇数番号	前半1時間のうち、はじめ50分	
	偶数番号	後半1時間のうち、はじめ50分	

※ポスターはセッション終了後直ちに撤去してください。セッション終了後20分過ぎても撤去されない場合には大会委員スタッフが撤去することがあります。ポスターは各自で責任を持ってお持ち帰りください。

2. 大会委員会企画講演

(1) 招待講演：

I：小坂井敏晶先生

4月29日（金）16：00～18：30

内部神話と発達心理学のアポリア

.....大講堂

II：Vasudevi Reddy 先生

4月30日（土）14：30～17：00

関わりの中でこころを感じる：社会的理解の諸起源

.....大講堂

(2) 英国心理学会発達部門との交流提携による招待講演：

千住淳先生

4月30日（土）9：00～11：00

社会脳の発達とその多様性

.....大講堂

(3) 大会委員会企画シンポジウム：

4月29日（金）9：30～12：00

当事者研究とは何か：当事者から語られる主観的世界とリカバリーへの取り組み

.....E311

4月29日（金）13：00～15：30

子どもの生育環境と発達：遺伝と環境の交互作用についての新しい視座

.....大講堂

5月1日（日）9：30～12：00

発達研究のパイオニア・三宅和夫が遺したもの、残ったもの

.....大講堂

3. 日本発達心理学会関連企画シンポジウム（学会委員会企画シンポジウムを含む）

4月29日（金）9：30～11：30

日本臨床発達心理士会企画シンポジウム

東日本大震災がもたらしたもの I：災害から学んだことを将来に繋ぐには

.....大講堂

4月29日（金）13：30～15：30

国内研究交流委員会企画シンポジウム

理論と実践をつなぐ子どもの見方

.....N302

4月29日（金）16：00～18：00

日本臨床発達心理士会企画シンポジウム

(7)

原発被害者の長期的支援を考えるⅡ

.....N302

4月30日（土）9：00～11：00

日本臨床発達心理士会企画シンポジウム

東日本大震災後の継続的な心の支援の必要性について3：被災地の心理専門職が考える、これから求められる子どもへの支援

.....N302

4月30日（土）12：00～14：00

編集委員会企画シンポジウム

「非定型」の視座から発達進化研究のフレームワークを再考する

.....N304

4月30日（土）12：00～14：00

日本発達心理学会・日本保育学会・日本乳幼児教育学会共催シンポジウム

遊びの質をどう捉えるか：戸外遊びの質

.....大講堂

4月30日（土）14：30～16：30

日本発達心理学会

公認心理師法成立後における発達心理学の専門性

.....N302

5月1日（日）9：30～11：30

分科会「ナラティブと質的研究会」

レジリエンスを育成するナラティブ・レッスン：負の体験からしなやかに復活する方法

.....N302

5月1日（日）13：00～15：00

日本発達心理学会・日本質的心理学会共催

自己語りと人生の時間：生涯発達の視点から

.....大講堂

4. 会員企画

(1) 自主シンポジウム

3日間をとおして、35件のシンポジウムが行われます。時間に合わせ、司会者が進行してください。各シンポジウム会場には、会場スタッフを1人配置しています。

(2) ラウンドテーブル

3日間をとおして、33件のラウンドテーブルが行われます。司会者もしくはファシリテーターが進行役となり、議論を進めてください。各会場にはスタッフはつきませんが、各階には数名のスタッフが常駐しています。

※会員企画シンポジウムとラウンドテーブルの会場には、液晶プロジェクターとスクリーンが用意されています。なお、会場ではノートパソコンとプロジェクターの仕様が D-Sub15 ピンですので、HDMI ケーブル、ならびに Mac 使用者は必要なアダプターをご持参ください。

5. チュートリアル・セミナー

4月30日（土）12：00～14：00

仲真紀子先生（北海道大学）

司法面接の基礎、応用と現在の課題

.....N302

6. 学会賞授賞式・会務報告会

大会2日目の4月30日（土）17：10～17：40に、大講堂にて開催します。多くの会員の出席をお願いいたします

7. 学会賞授賞者による小講演

大会3日目の5月1日（日）13：00～14：00に、E206にて開催されます。

8. 大会についてのお問い合わせ先

大会についてのお問い合わせや連絡は、下記 E-mail で日本発達心理学会会員管理事務局・大会サポートデスクへお問い合わせください。

一般社団法人日本発達心理学会 会員管理事務局・大会サポートデスク

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1丁目24-1

第2ユニオンビル4F（株）ガリレオ内

E-mail：g032jsdp-mng@ml.gakkai.ne.jp